

平成30年度 施政方針



まちづくりの基本方針

都市環境分野

都市と自然が織りなす
住みよいまちづくり

教育文化分野

生きる力を育み生きる
喜びを実感できるまち
づくり

産業振興分野

人と技術で賑わいを創
り笑顔で働き続けられ
るまちづくり

福祉安全分野

支えあいみんなが元気で
安心して暮らせるまちづ
くり

計画推進分野

市民と行政の信頼と協働
で築くまちづくり



刈谷市長

竹中良則

わが国の経済活動は、設備投資の増加、企業収益や雇用情勢の改善、個人消費の持ち直しなどの好条件が見受けられるようになっております。今後も、国が進める政策効果などにより、さらに経済活動が活発化していくことを期待しております。

本市に目を向けますと、夢と学びの科学体験館来館者数50万人突破、刈谷ハイウェイオアシス来場者数1億人突破と、まちの活力やにぎわいを示す明るい話題も多かったところで、これもひとえに、市民の皆さまのご理解とご協力の賜物であると感じ申し上げます。

本年度は、次世代を見据えた都市基盤の整備を着実に進め、未来に向けて力強く発展していくため、大きく踏み出してまいりたいと考えております。

北部地区においては、刈谷スマートインターチェンジと合わせて周辺道路の一体的な整備を進めてまいります。

中部地区においては、来年3月の歴史博物館の開館を目指すとともに、本市の玄関口であるJR刈谷駅および北口周辺の整備を進めてまいります。

南部地区においては、特別支援学校を本年4月に開校するとともに、市内の産業全体が発展するための工業用地の確保に努めてまいります。その他、西三河と知多地域を結ぶ新たな道路ネットワークとしての西三河知多アクセス道路の具体化への検討など、まちの魅力と風格を高めるための施策に取り組んでまいります。

また、待機児童の解消に向けた取組をはじめ、安心して子どもを生み、育てることができるよう、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制の拡充や企業への支援などの取組にも力を入れ、住みやすさをより実感できるまちづくりを推進してまいります。

そして、必ずや到来する超長寿化時代においても、子どもから高齢者まで全ての市民の皆さまが元気で幸せを実感し、住み続けたいまち、住んでみたいまちであるために、本市の将来都市像である「人が輝く 安心快適な産業文化都市」の実現に向け、市民の皆さまと一体となって、全力で取り組んでまいります。